

魅力も知ってもらい、再度長崎にお越しただくよう工夫していきたい。

未来への手紙 (タイムカプセル大作戦)について

問 市制120周年の節目を迎えるにあたり、子ども達がかかわる事業が少ないと感じる。子ども達が大人になった時に市民力を向上させる仕掛けの一つとして10年後の未来へ手紙を書くタイムカプセルを利用してはどうか。

答 タイムカプセルは、作成過程や10年後の開封を通して親子の絆も深まり家庭力の向上や地域への感謝にもつながる。取り組みに際してはPTAと学校が十分相談の上なされると思うが、周知や相談等、協力していきたい。

自民明政クラブ

入札制度について

問 この経済不況の中、工事関係以外の業務委託については最低制限価格が見直されていない。業者間での過度な競争により、労務集約型業務委託では、人件費へのしわ寄せが懸念される。業務内容に応じて、業務委託の最低制限価格を見直す考えはないか。

答 工事関係以外の業務委託で一部制限付き一般競争入札を施行しているが、今年度は前年度より低い落札率となっており、適正な履行の確保ができない事態も考えられる。今後、最低制限価格を見直す方向で検討していきたい。

市町村合併に伴う諸問題について

問 合併時に策定した市町村建設計画期間は10年だが、これまでの進捗状況はどうなっているのか。また、優先順位を決めて取り組む必要があると思うが、今後の計画と実現に向けてどのように取り組んでいくのか。

答 平成20年度末までに予定事業の約8割が着手又は完了している。今後とも着実な事業推進に努める。また、計画策定後の状況の変化や新たな施策への取り組みについても、地域の意見等を踏まえ、まちづくりの目標の実現に向けて努力していきたい。

公明党

浄化槽の整備事業の見直しについて

問 浄化槽の未設置世帯への整備をどのように進めていくのか。また、合併浄化槽は適正な維持管理が徹底されな

いと汚水を垂れ流すことになるが、市としてどのように対策を進めようとしているのか。

答 浄化槽整備区域内の未設置世帯約2千世帯を対象に整備を進めていく。法定検査で不適正と判定されたものや、清掃未実施の浄化槽の管理者に対しては、改善指導や立入検査を行い、適正管理の徹底を図っていきたい。

介護予防ボランティア支援事業について

問 元気な高齢者が介護予防ボランティア活動を通じ地域貢献することを奨励・支援することにより、介護予防を推進する介護予防ボランティア支援事業を導入する考えはないか。本市の現状と今後の課題をどう考えるか。

答 本市では「あじさいサポーター」として介護予防ボランティアを養成している。今後は介護予防事業に限定せず、老人福祉施設における活動など、活動の選択肢を広げ、長崎市らしい制度の拡充を行っていきたい。

女性の健康支援がん対策について

問 女性特有のがん検診の無料クーポン配布事業や女性の健康手帳について、どのように対応する考えか。また、が

ん検診受診率向上のために、どのような取り組みを考えているのか。

答 受診率の向上が期待できるので無料クーポン配布の実施に向けて準備を進めたい。健康手帳については国のモデル事業の検証結果をもとに検討したい。受診率の向上のために、今年度から自治会への健康教育の出前講座に取り組んでいる。

日本共産党

地域密着型の公共事業の推進について

問 公共工事の発注により中小零細企業の生活と雇用を守る事が市に求められている。公共工事の分離分割発注や前倒発注、生活密着型の小型公共工事への転換により、雇用を拡大すべきと考えますが市の見解を伺いたい。

答 地域経済活性化と雇用拡大に大きく寄与する観点から、可能な限り分離分割発注を心がけ、地元業者の受注機会が多く得られるよう努めている。今後とも地元業者優先の公共工事の発注に努めていきたい。